

事業実績シート（研修及び調査・研究）

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費（円）		356,896	371,836	196,303				
(財源内訳)	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	市町振興共同事業助成金	237,930	247,889	130,868				
	一般財源	118,966	123,947	65,435				
目標・目的指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	市町村職員中央研修所への職員派遣数	派遣職員数	人	目標	5	5	5
					実績	4	4	2
				目標達成率(%)	80%	80%	40%	
	②				目標			
					実績			
目標達成率(%)								

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 実施することによるメリット
	<p>(内容、程度等)</p> <p>最近の全国的な動向、専門的な知識、技能の習得や他自治体との情報交換の確保ができる場であり、職員の資質向上、住民サービス向上に与える影響は大きい。</p>

事業実績シート（研修及び調査・研究）

4 有効性の点検、実現性の点検

有効性の点検	(1) 目標（目的）指標の達成状況	
	<input type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標を下回った	
実現性の点検	(2) 実施前、想定していた目標・目的が達成できた理由またはできなかった理由	
	業務の日程調整等の理由から、他事業への参加が多く見られたため。 今後も例年通り、随時研修案内を出し参加を促す。	
実現性の点検	(1) 事業への反映	(具体的内容)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できる <input type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できない	学んだ専門的知識を生かし、少子高齢化や人口減少社会における様々な課題を把握し、多様化する住民ニーズに即した町政の推進を行う。
	(2) 公共性の評価	(具体的内容)
	本研修及び調査・研究を通じて <input checked="" type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を将来的に還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できない	専門的知識及び全体の奉仕者としての資質の向上が図られたことにより、住民の福祉と地域の振興のため、より実践的な業務を行うことができるようになる。

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了（完了）		☑ 現状維持
実施予定時期						
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> 目標・目的未達成	<input type="checkbox"/> 目標・目的達成	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合			☑ 現状維持
実施予定時期						
実現性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業へ反映	<input type="checkbox"/> 事業に反映できない	<input type="checkbox"/> その他			☑ 現状維持
実施予定時期						
具体的内容	職員の資質向上と住民サービス向上を目的とし、引き続き当該研修所への派遣を行う。 また、限られた予算の中で、高度で専門的な研修の機会を得るために、本助成事業の継続は必要である。					